



- P 駐車場**
利用料：無料 24時間②のみ平日8:30～21:00
- ①多度津港臨時駐車場(100台) ②多度津町総合スポーツセンター(100台)
 - ③大通り駐車場(30台) ※一部工事または他団体の駐車利用の場合あり。
 - ④東港町臨時駐車場(県営東港町野積場)(80台)

船の時刻
※天候などにより欠航や到着時刻が変更になる場合があります。
※臨時便などはこの通りではありません。

多度津 ⇄ 高見島 ⇄ 佐柳島(本浦) ⇄ 佐柳島(長崎)				
多度津発	高見島発	佐柳本浦発	佐柳長崎着	区分
06:55	07:20	→	07:50	フェリー
09:05	09:30	09:55	-	フェリー
11:00	11:25	-	-	フェリー
14:00	14:25	14:50	15:05	フェリー
16:20	16:45	17:10	-	フェリー

佐柳長崎発	佐柳本浦発	高見島発	多度津着	区分
07:50	08:05	08:30	08:55	フェリー
-	10:00	10:25	10:50	フェリー
-	-	11:35	12:00	フェリー
15:05	15:25	15:50	16:15	フェリー
-	17:10	17:35	18:00	フェリー

利用料金／多度津⇄高見島 大人 500円 小人 250円
定員／平日95人、土、日、祝150人 たどつ汽船 0877-32-2528
※岡山県(真鍋島)から佐柳島を経由して高見島に入る航路もある(毎土、1日1便)。

注意事項

- 【事前準備】**
- 動きやすい服、歩きやすい靴をお選びください。細い路地や坂道が多いため、足元には十分に注意してください。人とすれ違う際も十分注意しましょう。基本的には全て徒歩移動です。
 - スズメバチが多く生息しております。黒い服装は避け、肌の露出を少なくし、なるべく明るい色(白色や黄色など)の服でお越しください。
 - 島に自動販売機はありません。飲料水はご持参ください。
 - 食事を提供するお店は限られております。必要に応じて食事をご持参ください。
 - キャッシュレス決済には対応していません。必ず現金をご準備ください。
 - ごみは必ず持ち帰ります。多度津港のエコステーションでごみの回収をしています。
 - 無断撮影、私有地への侵入、大声で騒ぐ等の迷惑行為はやめましょう。
 - 野生のイノシシが多く目撃されています。出会ってしまったら、決して威嚇したり、追い払おうとはせず、静かに後ずさりして、その場を立ち去りましょう。
 - 島内には病院がありません。ご気分が悪くなられた場合は、お近くのスタッフまでお声がけください。
 - トイレは、高見港待合所、高見こいの家、高見島研修センターにあります。高見島研修センターは和式便座のみです。
 - 休憩所・食事可能スペースは、高見こいの家になります。ただし、島民の方向けの移動販売が行われている時間帯にはご利用いただけません。
- 【島内】**

掲載情報は、2025年8月時点のものです。
内容に変更がある場合がございますので、予めご了承ください。
発行：瀬戸内国際芸術祭多度津町実行委員会 (事務局：多度津町政策課)

芸術祭シャトルバス
秋会期中、駅と港を結ぶ芸術祭シャトルバスが運行。
[毎日]JR多度津駅⇄多度津港 利用料：無料
8:00～フェリー最終便の到着まで約30分間隔で出発

本島 ⇄ 高見島 ⇄ 粟島

本島発	高見島発	粟島着	区分
10:05	10:35	10:55	旅客船
11:15	11:50	12:10	旅客船
12:25	13:00	13:20	旅客船
13:30	14:05	14:25	旅客船
14:35	15:10	15:30	旅客船
15:40	16:15	16:35	旅客船

粟島発	高見島発	本島着	区分
10:00	10:25	10:55	旅客船
11:15	11:40	12:10	旅客船
12:25	12:50	13:20	旅客船
13:30	13:55	14:25	旅客船
14:35	15:00	15:30	旅客船
15:40	16:05	16:35	旅客船

利用料金／本島⇄高見島 大人 1,300円 小人 650円
高見島⇄粟島 大人 1,100円 小人 550円
70人または78人※使用船によって異なる。 にじ観光 0877-24-6300

高見島

TAKAMISHIMA

S E T O U C H I
T R I E N N A L E
2 0 2 5



▲公式アプリ無料ダウンロード
Official App Free Download



Photo : Shintaro Miyawaki



アンケートにご協力ください

※高見島を訪れ、島マップを読んだ方が対象です。

高見島の歴史と民俗

文章：高見島応援団「さざえ隊」 代表 西山 市朗（高見島出身）

高見島は多度津町の北西の沖合7.5kmにある周囲6.4kmの島である。海岸線に沿いわずかな平地があるだけで龍王山の斜面が迫っている。フェリーが発着する港から西には漁船が停泊する浜地区、島の東側には狭く急な坂道を上った斜面に階段状に瓦葺の屋根の家が立ち並んだ浦地区、島の北端にはかつては板持地区があった。

瀬戸内国際芸術祭の作品のほとんどが展示されている浦地区は、急峻な斜面に石垣を築き家々が建ち並んでいるが古くは現在より北の丘陵地帯にあった。江戸時代初めに旧浦集落が大火災となり、集落ごと今の地に移ってきて計画的に造られた集落といえる。この浦集落の家並みは、昭和47年（1972年）に香川県が重要伝統的建造物群として指定の候補にあげて調査をおこなった。しかしながら、高齢化と住民の減少により維持管理が困難であるという理由で指定を受けなかった。時が流れ、建物は空き家のまま廃屋になり、壊れたものが多くなってきたが、石垣は現在も残り往時の繁栄をしのぶことができる。



▲ かつての浦地区（1978年）



▲ 五輪塔

島の歴史は古く、龍王山の頂上からは大正時代に弥生土器が出土している。伝承によれば、島の北の端に空海が訪れたことを伝える話がある。平家の落人が住み着いた話、鎌倉時代初めに児島から移り住んできた話、浜地区墓地に移された「児嶋高德」^{こじま たかのり}「高見三郎宗治」^{むなふだ}のものともいわれる五輪塔は室町時代のもものと伝えられている。また浜地区の善福寺の棟札〔享禄3年（1530年）〕からみて室町時代末期には集落が形成されていたと推察されている。

高見島は本島を中心とする塩飽諸島に属し、戦国時代になると優れた操船技術を織田信長・豊臣秀吉に認められ御用船として徴用された。秀吉は塩飽諸島の石高1250石を船方衆650人に与え、「人名」^{にんみょう}*による自治が行われた。これは江戸幕府にも引き継がれることになり廻船業で栄えたが、時代の流れで衰退し大工や幕府の御用船の水夫となる島民もいた。万延元年（1860年）咸臨丸渡米時の水夫50人のうち35人は塩飽の人であった。高見島からは玉谷好平・西田吉松・田中清右衛門・中西竹蔵の4人が水夫として乗船してサンフランシスコへの航海にでた。また、文久2年（1862年）幕府の命を受けた留学生15人のひとりとして造船技術を学ぶためオランダに留学した山下岩吉がいる。



▲ 大正時代から始まる山頂まで栽培された除虫菊

明治時代になると遠洋漁業で朝鮮近海まで行ったり、宮大工として寺院建設にかかわったり、アメリカに移民した家族もいた。大正時代になると山の頂上まで除虫菊が栽培され、五月の開花時期になると島の頂上一面に雪が積もったように白くなっていたという。除虫菊栽培は昭和40年（1965年）ごろまで蚊取り線香の原料として島の産業を担ったが海外から安価な材料が輸入され、化学合成の殺虫剤の普及で衰退してしまった。その後みかん栽培、花き栽培をした時期もあった。

急峻な坂道や石段が多く一人一人が歩ける狭い道の高見島では重い荷物を運ぶ時、男の人はカルイ（背負子^{しよいこ}）を使い、女の人は頭の上に乗せて運んでいた。この頭上運搬をカベル^{しよいこ}といって藁を丸め束ね、布で巻いた輪を頭に乗せ荷物を置く。重い物では30kgくらいあり、それをバランスよく運んでいた。



▲ 嫁入り行列（多度津町立資料館蔵）

昭和29年（1954年）に浜地区から浦地区に嫁入りした人の嫁入り行列の写真がある。嫁入り道具を親戚の者に頼んだりして坂道をカベル^{しよいこ}運んでいる。行列の先頭の人足は赤い襦袢を着て青竹をつき伊勢音頭を唄いながら道をねり歩き婚家へと招いて行ったという。



▲ 高見島なもで踊り

戦後関西方面から疎開して来た人々が居を構え、人口が1000人を超え賑わった時もあったが、高度経済成長で経済が復興するにつれ島を離れる人々が増えていき、今では島民20余名と過疎の島となってしまう伝統的な行事が行われなくなりつつある。

平成25年（2013年）から3年ごとに行われている瀬戸内国際芸術祭の開催期間中には1日1000人を超える人々が訪れたこともあり、一時的ではあるが昔の賑わいを感じることができた。今回の開催に際しても、高見島を訪れた多くの人々に、島の歴史、景観のすばらしさを知ってもらうことができれば幸いである。



▲ カベル（頭上運搬）

郷土食としては古くから日常よく食べられたチャガイ(茶粥)がある。家によっては島に自生するエビス草の種を煎ったロツケシや碁石茶・番茶を茶袋に入れ煮出したお茶に米を入れて炊く粥である。サツマイモ・ソラマメ・ササギなどを入れ、米は煮過ぎずざらっとしたものが好んで食べられている。



▲ 郷土料理チャガイ（茶粥）

島の年中行事としては盆の期間中の8月14日・15日に行われていた多度津町指定無形文化財の「高見島なもで踊り」がある。「ナーモーデー」という南無阿弥陀仏が変化した念仏踊りで、盆に帰ってくる先祖の霊を迎えるものであるが現在は行われていない。

戦後関西方面から疎開して来た人々が居を構え、人口が1000人を超え賑わった時もあったが、高度経済成長で経済が復興するにつれ島を離れる人々が増えていき、今では島民20余名と過疎の島となってしまう伝統的な行事が行われなくなりつつある。

平成25年（2013年）から3年ごとに行われている瀬戸内国際芸術祭の開催期間中には1日1000人を超える人々が訪れたこともあり、一時的ではあるが昔の賑わいを感じることができた。今回の開催に際しても、高見島を訪れた多くの人々に、島の歴史、景観のすばらしさを知ってもらうことができれば幸いである。

高見島だけではない多度津町の魅力

多度津港周辺食事処

うちカフェ 悠里
多度津町西浜11-8-1
TEL.070-9041-0351
11:00~15:00 月・水・土・日曜 休



いけこうどん
多度津町西浜11-18
TEL.0877-85-5301
10:00~15:00 月曜 休



喫茶・軽食 あい
多度津町西浜11-26
TEL.0877-33-1666
7:00~18:00 金曜 休

※秋会期中は高見島での営業となります。



こがね製麺所 多度津店
多度津町東浜8-24
TEL.0877-32-1077
6:00~15:00 無休



釜あげうどん岡じま 多度津店
多度津町東港町1062-1
TEL.0877-43-7811
平日 10:00~15:00 / 土日祝 6:00~15:00 年中無休



海食処 笑門家
多度津町東浜7-11 TEL.0877-32-1331
11:00~14:00・17:00~22:30
(金・土23:30まで) 火曜 休



笑門家と多度津高校がコラボ!
多高スペシャル海鮮定食提供!

日時: 10月31日(金)・11/1(土)
ともに11:00~14:00
数量: 各日限定25食 価格: 未定
多度津高校オリジナルブランド魚等
※DCJサーモン、瀬戸のクラメキ(サヨリ)、健康キノコ真鯛、讃岐うどん、陸上養殖アワビ
※当日は、多度津高校の生徒が、調理等でも参加します。



宿泊施設

ホテル トヨタ
多度津町栄町3-2-10
TEL.0877-33-0088
チェックイン 15:00~チェックアウト 10:00
Instagram: @hotel_toyota



家中舎
多度津町家中4-25
TEL.0877-35-8765
Instagram: @kachusha423



ネコノシマ Hostel
多度津町佐柳1353
TEL.0877-35-0305
Instagram: @neconoshima_hostel



香露軒
多度津町西浜1-15
TEL.090-7144-6803
Instagram: @koroken.tadotsu



みどころ



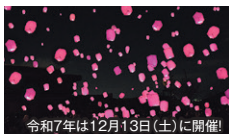
県立桃陵公園
園内には約1,500本のソメイヨシノが植生する桜の名所であり、新品種の桜「桃陵八重桜」も発見されています。また、4月には来場者参加型の「たどつくらまつり」が盛大に行われます。



少林寺拳法
「少林寺拳法」は、宗道臣が、昭和22年(1947年)、多度津町において「人づくり」のための「行」として創始しました。平日は赤い門から境内に入ることができます。青空をバックにした建物と大雁塔が写真スポットとなっています。



佐柳島
多度津港からフェリーで50分、高見島の先にある小さな島です。かつての土葬の風習をいまに伝える埋め墓と参り墓からなる両墓制は香川県の有形民俗文化財にも指定されています。



たどつ桜たんページェント
多度津町まねきねこ課が企画し、2017年度に始まったランタンイベント。コンセプトは「多度津の冬に桜をさかせるオシャレなイベント」です。いろいろなお店が出店するマルシェやミニコンサートなどのイベントも開催されます。

特産品

ふるさと納税人気返礼品(2024年度)



上乾ちりめん



クアトロ
アモーレピザ
(アソート)



讃岐名物
やみつき
チャーシュー



多度津白方
殻付活牡蠣
カンカン焼セット



純正!
これぞ真髓!
本場さぬうどん

他にも
もたくさん!



ふるさと納税
サイトへ

本町地区を歩いてみよう

多度津港より南へ徒歩10分。
風情ある町並みの商店街に、新しいお店や**日本遺産***が点在します。



1 Tetugakuya [カフェ・雑貨]

時間: 14:00~19:00 休み: 火・土
TEL.050-5897-3829 Instagram: @tetugakuya

2 柳原菓子店 [菓子販売]

時間: 9:00~18:30 休み: 日曜
TEL.0877-32-2731

3 おのみち屋

時間: 10:00~18:00 休み: 水曜
TEL.0877-89-6865
Instagram: @onomichi8

- ・POKER FACE CAFÉ [カフェ]
- ・龍のキャンパス [雑貨]
- ・たぬきの売店 [雑貨]

【日本遺産】白鬚神社

金毘羅街道が本町筋に移る前の
旧金毘羅街道であったとされる田
町筋の起
点に位置
する神社。



4 お惣菜処 てつや [食事]

時間: 11:00~14:00 休み: 水・日・年末年始
TEL.0877-32-1058 Instagram: @osouzaidokorotetsuya

5 よっていってやー [休憩どころ]

時間: 10:00~17:00 休み: 無休
TEL.090-5918-8531

6 藝術喫茶清水温泉 [食事・カフェ]

時間: 11:00~18:00 休み: 水曜
TEL.0877-89-3587 Instagram: @simizuonsen

7 一棟貸切宿 空と家 [ゲストハウス]

時間: チェックイン 15:00~ チェックアウト ~11:00 休み: 無休
TEL.0877-89-6865
Instagram: @sora_to_ie_guesthouse

8 ドラッグ神原 [薬店]

時間: 9:00~17:30 休み: 土・日
TEL.0877-32-3216

9 ペットと泊まれる宿 純華・すみかふえ [民泊・カフェ]

時間: 11:00~18:00 休み: Instagramをご確認ください。
TEL.090-5918-8531
Instagram: @sumika.tadotsu, @sumika98cafe.tadotsu

10 あそ美工房多度津 [自然体験・カフェ]

時間: 10:00~16:00 休み: 不定休
TEL.090-8280-6249 Instagram: @asobikoubou

【日本遺産】旧合田家住宅

北前船で財を成した多度津七福
神「合田家(島屋)」の住宅。
主屋は明治時代に建てられたもの
が現在も残っています。



7時から22時まで
車両一方通行

秋会期中の本通周辺のイベント紹介

本町デー 10/26(日)

11:00~15:00
主催: 本町筋を愛する会



詳細はこちら▶

合田邸公開事業

11/8(土) 9:00~16:00
講演会、ワークショップを実施予定
主催: 多度津町
(生涯学習課0877-33-0700)

※日本遺産とは文化庁が認定する地域の歴史的な魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーのこと。
多度津町本通の町並みは、北前船で栄えた町家屋敷及びそれらを内包する近代の伝統的建造物群が今なお多く残っています。